

鐫木清方文集

八
隨時隨感

鍋木清方文集

八
隨時隨感

白鳳社



鐫木清方文集 八 隨時隨感

昭和五十五年九月二十日第一刷發行

著者 鐫木清方かほら きよまさ

編者 山田肇

發行者 高橋謙

發行所 株式會社白凰社

東京都千代田區神田神保町一一二〇
郵便番號 一〇一

電話番號 東京〇三二九一七五七一
振替口座 東京八一九二二四一

印刷・製本 凸版印刷株式會社

定價 四、九〇〇圓

コード番號 〇三七〇一二〇八一六九〇六
落丁・亂丁本はお取り替へいたします。

鏑木清方文集

八 隨時隨感

目次

I

文展作品と美術院作品と	二五
日本畫家にも生活難がある	二六
雜感	二三
此の頃の私の繪	二六
文展の後に	二五
郷土會展覽會の前に	二四
文展雜感	二七
日記帳より	二〇
寫實と裝飾の二方面	二五
自然から受けた印象	二六

審査員の任命を受けて	五
根本的誤謬一つ	五
私の印象せる作品	五
美人畫の修業法	六
流行らせた團扇の繪	六
風致保安林	六
繪畫劇といふもの	六
行潦社のあつまり	七
繪畫劇に就て	七
朝日影	七
年頭偶感	八
名人を憶ふ	八
京の夢	八

Ⅱ

筑波が見える	九
--------	---

故郷のスケッチ	一〇〇
捕物	一〇三
制作の節約を勵行すべし	一〇七
展覽會の會場	一〇九
畜犬三日の記	一一二
近き思ひ出	一二五
むぎ湯	一二七
作家言	一二九
自誠	一三〇
畫室	一三三
二つの話題	一三四
涼	一三七
甘いものゝ話	一三三
家	一三八
淀の月かげ	一四一
年頭感	一四四

遊心庵漫筆……………一四

かをり……………一五

ジヨリイ……………一五

繪かき商賣……………一五

身邊雜事……………一六

雨の箱根……………一六

ことしから不義理をする……………一七

會場のはなし……………一七

端 午……………一八

用意の周到さ……………一八

夏の女……………一八

野風呂……………一九

女人夏景……………一九

一陽來復……………二〇

入 浴……………二〇

河 岸……………二一

春庭		二〇三
並木		二〇六
町の鑑賞		二〇九
幻の町		二二三
『薄紅梅』に繪を作りて		二二六
生活思ふまゝ		二二八
藝術院初會		二三三

III

身邊近事		二三二
花鳥私語		二四五
鰯		二五一
はやりかぜ		二五四
花形から馬の脚へ		二五九
築地の河岸		二六二
江東美術園		二六九

内濠外濠	二五
不二見西行	二六
新春二題	二六〇
雨　　聲	二六四
阿部さんのこと	二六九
思ひ出一つ	二七三
玉堂の人と藝術	二七五
小村さんの追想	二八六
世間ばなし	三〇一
庭　　樹	三〇五
藤懸博士壽像の制作	三二三
日　　記	三二四
松園さんの研究	三二六
左様なら「都」	三三二
岡田さんのこと	三三六
蜷	三三〇

VI

老 鷺	三〇七
汽車に乗る	三〇三
去年の元日	三〇九
鎌倉の夏	三一一
御會食の記	三一一
靴の音	三二六
白足袋	三二九
張子の虎	三三四
ラジオの功德	三三六
鎌倉の美術館	三六〇
散 歩	三六三
ひとりごと	三六六
菓子會	三六九
尊氏と正成	三九三

人相	三五四
行儀	三五六
藝術院の授賞式	三六六
交番の焼打	四〇〇
三國同盟	四〇二
逆説忠臣藏	四〇四
ある構圖	四〇六
平和追求	四〇八
子鴉	四一〇
散歩	四一三
遠望した岡倉先生	四一六
忘れぬ俤	四一八
弔辭	四二二

V

雪	四二五
---	-----

『銀砂子』序……………	四三〇
『築地川』後記……………	四三三
『褪春記』序……………	四三五
『蘆の芽』序 つのぐむ蘆……………	四三七
『連翹』後記……………	四三九
『清方隨筆選集』附記……………	四四一
あとがき……………	四四三
編者 山田 肇……………	

圖版目錄 (二重括弧内は作品名)

『三遊亭圓朝像』下繪 (昭和五年)		八對向
筑波山 (『東なまり』昭和十八年一月刊)		九
明石町追懷 (『美之國』大正十五年十月號)		一〇
『築地川』十面の九「築地橋」(昭和十六年)		一六對向
端 午 (『サンデー毎日』昭和五年五月五日號)		一九
夏の女 (昭和四年寫生)		一五
野風呂 (『國民新聞』昭和十年七月三十一日)		一七
如意輪觀音 (『大法輪』昭和十年八月號)		一九
『薄紅梅』插繪 (『東京日日新聞』「大阪毎日新聞」 昭和十二年一月十三日)		三七
『鰯』(昭和十二年)		二五對向
臥龍梅 (明治四十一年寫生)		二二
龜井戸の瓦燒き (同右)		二六
『春雪』(昭和二十一年)		三五對向

中屏寫眞は鑄木清方の既刊隨筆集の裝幀。

『鰯』はソウル國立中央博物館藏。

寫眞提供、小學館。

寫眞 大澤 一 夫

I

銀砂子
鍋木清方著

